日本語訳

ダン・ホルトとピーター・ベーター博士の電話での会話

時刻は録音全編の冒頭からの経過時間です。角括弧は聞き取りにくい箇所を示します。

録音全編 · 33:16

1回目の通話

00:05–11:12

00:05	ベーター博士	もしもし？
00:06	ダン・ホルト	もしもし、ベーター博士でいらっしゃいますか。オレゴン州クレスウェルのダン・ホルトです。ダン・ホルト・テープ・サービスの。
00:12	ベーター博士	ええ。
00:13	ダン・ホルト	以前、お電話番号を教えていただきました。
00:14	ベーター博士	そうでしたね。お元気ですか。
00:16	ダン・ホルト	ええ、元気です。
00:17	ベーター博士	それはよかった。商売のほうはどうです？
00:20	ダン・ホルト	順調です。
00:21	ベーター博士	それはよかった。
00:21	ダン・ホルト	いや、実はそうでもなくて。前にご連絡をいただいてから、売れたテープはたぶん3本ほどです。貸し出したのは6本か9本か、そのくらいかな。
00:33	ベーター博士	そうですね。今どき、本当のことを聞こうという人は、よほどの人ですよ。
00:38	ダン・ホルト	ええ、そんな感じですね。
00:39	ベーター博士	ええ、ええ。そちらはいかがですか。
00:41	ダン・ホルト	まあまあですよ。
00:42	ベーター博士	天気のほうは？
00:44	ダン・ホルト	天気なら、今のところ悪くないですよ。
00:46	ベーター博士	なるほど。
00:47	ダン・ホルト	そちらはどうです？　昨日は華氏80度か、そのくらいだったと思います。
00:50	ベーター博士	それは驚いた。こちらは雨で寒いですよ。
00:52	ダン・ホルト	えっ、そうなんですか。
00:53	ベーター博士	ええ。
00:54	ダン・ホルト	へえ。少しお声が違う気がします。何か……？

1回目の通話

00:57	ベーター博士	ここ1時間ほど、ずっと電話で話していたんですよ。
00:59	ダン・ホルト	ああ、それでですか。
01:01	ベーター博士	ええ、まあ。いろんな人がかけてくるものですから。
01:03	ダン・ホルト	ある人から電話が……いや、手紙が来ましてね。博士の電話番号をほかの人に教えてもいいのか、知りたいと言ってきたんです。それで……
01:09	ベーター博士	いや、私の電話番号は教えないでください。
01:11	ダン・ホルト	じゃあ、教えません。
01:12	ベーター博士	いま喉が痛くてね。こっちじゃみんな風邪をひいている。雨で寒くて、じめじめしてるんです。
01:17	ダン・ホルト	わかりました。じゃあ教えません。
01:18	ベーター博士	こちらはひどいですよ、[聞き取り不明]。
01:20	ダン・ホルト	わかりました。ところで今日、少しお尋ねしたいことがあるんです。差し支えなければ、これを録音させていただけますか。
01:30	ベーター博士	いやはや、たった今、電話で取材を受け終えたところでね。どういう話ですか？
01:34	ダン・ホルト	ええと、ロシアで起きたあの爆発について、何か新しくご存じかと思いまして。
01:41	ベーター博士	いや、ダン、聞いてください。そういうことはもうわからないんですよ。元の弁護士の仕事に戻りましたから。
01:51	ダン・ホルト	そうですか。
01:52	ベーター博士	それに、経済関係の仕事です。今やっているのはそれだけですよ、ダン。
01:56	ダン・ホルト	わかりました。
01:56	ベーター博士	つまり、今はどの情報筋も私には経済情報しか寄せてこないんです。
02:04	ダン・ホルト	なるほど。経済情勢のことだけですか。
02:08	ベーター博士	そうです。今はそれについてしか話しません。
02:10	ダン・ホルト	ああ、わかりました。
02:11	ベーター博士	ほかのことをする時間がないんですよ。私だって暮らしていかないとね。
02:17	ダン・ホルト	ええ、そうですね。誰でもそうです。
02:19	ベーター博士	私には子どもが3人と、いい妻がいますから。
02:22	ダン・ホルト	ええ。
02:23	ベーター博士	だから仕事をしなきゃならない。アメリカの人たちに知らせようと、私は人生の10年と自分の資金をつぎ込みました。でも、皆さんには皆さんの悩みがあるんですよ。
02:34	ダン・ホルト	そういう人もいるでしょうけど、今でも関心を持っている人たちもいますよ。
02:37	ベーター博士	ええ、それはわかっています。届く手紙を見ればわかりますから。
02:39	ダン・ホルト	ええ、それで、ひょっとして……

1回目の通話

02:41	ベーター博士	『ウィスコンシン・レポート』は読んでいないんですか。
02:44	ダン・ホルト	ええ、あの記事を一つ読んだだけです。
02:46	ベーター博士	あそこには毎月1本、私の記事が載っていますよ。
02:49	ダン・ホルト	じゃあ、定期購読できるんですね？
02:52	ベーター博士	ええ、年に10ドルほどですよ。
02:54	ダン・ホルト	そうでしたか、知りませんでした。あの記事だけが載ったんだと思っていました。
02:58	ベーター博士	いや、毎月1本です。それと、その合間に私の昔のラジオ番組を使っていてね。放送したものを文字に起こしているんです。
03:09	ダン・ホルト	えっ、そういうものをお持ちとは……わかりました。
03:11	ベーター博士	ダン、『ウィスコンシン・レポート』に手紙を書くといいですよ。
03:15	ダン・ホルト	私もテープを2本ほど持っています。ずっと昔、カリフォルニアのラジオでロックフェラー家について放送されたものです。
03:22	ベーター博士	ええ、まさにそれです。私の昔の放送を録ったテープを、みんな文字に起こしているんです。
03:29	ダン・ホルト	ああ、なるほど。
03:30	ベーター博士	それで、全国各地から何百本もの原稿が寄せられているんです。
03:34	ダン・ホルト	ああ、その新聞に、ですか。
03:36	ベーター博士	そうです。
03:37	ダン・ホルト	ああ、そうですか。わかりました。
03:39	ベーター博士	それに彼女は『音声書簡』の、過去の号の書き起こしも売っています。
03:44	ダン・ホルト	なるほど、わかりました。
03:46	ベーター博士	ダン、彼女に連絡してみるといいですよ。
03:48	ダン・ホルト	ええ、そうします。新聞はまだ手元にあるので、そこを見れば住所がわかります。
03:51	ベーター博士	ええ、私書箱45番です。
03:54	ダン・ホルト	私書箱45番。
03:56	ベーター博士	ええ、ウィスコンシン州ブルックフィールド。5、3、0、5、そんな感じです。5、3、0、5、そんなような番号です。
04:05	ダン・ホルト	5、3、0、5ですね。わかりました、あとで見てみます。
04:10	ベーター博士	[聞き取り不明]、ダン。ええ、5、3、0、[聞き取り不明]。ウィスコンシン州ブルックフィールドです。
04:24	ダン・ホルト	わかりました。
04:25	ベーター博士	宛名はヴァージニア・メーヴスと書けばいいです。M-E-V-E-S。それで今は……
04:29	ダン・ホルト	ヴァージニア、何さんです？
04:31	ベーター博士	M-E-V-E-S。メーヴスです。

1回目の通話

04:33	ダン・ホルト	ヴァージニア・メーヴス。
04:35	ベーター博士	彼女が発行人です。
04:37	ダン・ホルト	そうですか。
04:38	ベーター博士	バックナンバーが欲しいと伝えるといいですよ。今ちょうど、ウェストバージニア州チャールストンで私が[名は聞き取り不明]・ベントリーさんの取材を受けたときの話が載っています。
04:46	ダン・ホルト	わかりました。あなたの……を載せてから、どのくらいになります？
04:48	ベーター博士	いやいや、それこそ私が『音声書簡』をやめて以来ですよ。
04:51	ダン・ホルト	へえ、ほとんどそのころからずっとですか。
04:54	ベーター博士	そうです。いろんな人が録ったテープを、彼女が集めているんですよ。女性でも持っているという人がいたし、男性でもね。私が全国各地のラジオ局で受けたインタビューの録音です。
05:06	ダン・ホルト	ええ、私もこちらのカリフォルニアのラジオ局のものを2本持っています。
05:11	ベーター博士	じゃあ、ヴァージニア・メーヴスさんと話をつけたらどうです。買い取ってくれるかもしれませんよ。
05:14	ダン・ホルト	ああ、わかりました。それと、手に入る情報なら何でも知りたいという人が今も何人もいるんです。今起きていることについて、ほんの初歩的な情報でも教えてくれる方をご存じありませんか。スペースシャトルとか、そうですね、ラジニーシの[聞き取り不明]とか、そういうことです。
05:39	ベーター博士	ダン、教えてあげられたらいいんですが、私はそこからすっかり手を引いたんです。
05:43	ダン・ホルト	どなたかお知り合いに、大金を求めるのでなくて、ただアメリカの人たちのことを思って、そうしてくれそうな方はいませんか。
05:51	ベーター博士	そういう人は思い当たりません。私の情報筋も今や、みんな口を封じられて……
05:59	ダン・ホルト	ああ。
06:00	ベーター博士	……国家安全保障に関することではね。私には本当のことが伝わりすぎていたからですよ。
06:06	ダン・ホルト	ええ、何か新しい、ええと、「ロイヤル・セキュリティ」があるとか、そうおっしゃいませんでしたか……？
06:11	ベーター博士	ええ。
06:13	ダン・ホルト	まあ、とにかく、そこからは一切情報が出てこないという……
06:17	ベーター博士	そうです。
06:17	ダン・ホルト	ほんの数人だけ、ということですよね。
06:19	ベーター博士	まったくそのとおり。だから、何が起きているのか、私はみんなに話してきました。あのテープは今でも古びていません。中には、今でも私の話のほうが5年、6年先を行っているものがあると思いますよ。

06:29	ダン・ホルト	ええ、まだニュースに出ていないこともありますからね。
06:32	ベーター博士	そうですよ、ダン。
06:33	ダン・ホルト	それと、合成のオートマトン、つまり自動人形やロボットについて、写真や資料をお持ちだったことはありますか。
06:41	ベーター博士	ええ、証拠はたくさんありました。そうでなければテープで取り上げたりはしませんでしたよ、[聞き取り不明]。資料はすべて返しました。見せてはもらえたんです。
06:49	ダン・ホルト	ああ、でも今は何もお持ちではないんですか。
06:51	ベーター博士	今はね。全部返しました。
06:53	ダン・ホルト	ああ。
06:54	ベーター博士	ああいうものは全部手放さざるを得なかった。
06:55	ダン・ホルト	そうでしたか。
06:56	ベーター博士	ねえ、あなたも私には生きていてほしいでしょう？
06:59	ダン・ホルト	ええ。
07:00	ベーター博士	実際、私は死にかけましたからね。
07:04	ダン・ホルト	ええ、わかります。そういうことに関わって、ほら、情報を出している人は、たぶん誰でも……
07:10	ベーター博士	ええ。あの人たちは、みんなが持っているテープを全部買い占められるなら、そうしたでしょう。でも風に散った羽のようなもので、取り戻せない。だから向こうは、テープで語られたことを何もかも否定するだけです。
07:24	ダン・ホルト	そうですか。どんなことをされたんですか。脅されたんですか？
07:26	ベーター博士	そうです。
07:28	ダン・ホルト	ああ。
07:28	ベーター博士	私の3人の子どもをね。
07:30	ダン・ホルト	うーん。ああ、そういうことですか。
07:36	ベーター博士	ただ、それはもう終わったことですよ。
07:39	ダン・ホルト	ええ。それでも何か情報が見つかるといいんですけどね。あのオートマトンについて、前にお話しになったほかには、もう何も思い出せませんか。
07:47	ベーター博士	ええ、何も。
07:47	ダン・ホルト	前に、あれは牛の……牛の体の一部か何かを使って作るとおっしゃったような……
07:53	ベーター博士	いや、もうそんなことすらしていませんよ。
07:55	ダン・ホルト	えっ、本当ですか。
07:56	ベーター博士	ずっと先に進んでいます。
07:56	ダン・ホルト	じゃあ今は、合成素材だけで作っているんですか。

1回目の通話

07:59	ベーター博士	ええ。
08:00	ダン・ホルト	牛の体の一部は全く使わずに？
08:02	ベーター博士	もう使いません。そんなのは昔の話です。
08:03	ダン・ホルト	それは全部、最初のころの話だったんですか？
08:04	ベーター博士	ええ、昔の話です。
08:06	ダン・ホルト	レーガンの顔を見ていると、ときどきしわの位置が変わるのに気づくんです。あるときはここにあったしわが、何か月かたつと違う場所にある。
08:17	ベーター博士	あちこちを大勢の人が歩いていますからね。
08:20	ダン・ホルト	モンデールもフェラーロも、2人ともオートマトンなんですか。
08:23	ベーター博士	それは本当にわかりません。
08:24	ダン・ホルト	わからないんですか。
08:25	ベーター博士	本当に知りません。ああいう情報を出していたのは、もう2年か3年前のことです。あのころはね、まったく危ない橋を渡っていたんですよ。
08:32	ダン・ホルト	ええ。情報を持っている人が見つかるなら、私がその役を引き受けてもかまわないんですけどね。
08:41	ベーター博士	ええ、でもみんな口を閉ざしてしまった。政府の中にいた人たちですから。
08:46	ダン・ホルト	たとえば用務員のような人で、ほんの少しだけでも知っている人はいませんか。
08:51	ベーター博士	いや、無理ですよ、ダン。無理です。どこも閉ざされています。
08:54	ダン・ホルト	へえ、そこまでとは知りませんでした。
08:56	ベーター博士	私たちはそう取り決めたんです。
08:58	ダン・ホルト	ああ。
08:58	ベーター博士	そうするしかありませんでした。
09:00	ダン・ホルト	うーん。
09:01	ベーター博士	向こうは「君の話が世界中に知れ渡らずにすんで、ありがたい」と言っていました。
09:05	ダン・ホルト	うーん。
09:06	ベーター博士	私のことは、ただ笑いものにした。あなたも笑いものにされますよ。それほどつらいことはありません。
09:11	ダン・ホルト	そうとも限りませんよ。もっとひどいことだってあります。私が知る限り、陰謀の内側で何が起きているかを話す人は、みんな嘲笑されています。
09:25	ベーター博士	ええ。
09:26	ダン・ホルト	ニュースでもしょっちゅうその人たちの悪口をあれこれ言って、本当のことを話していないとか、そんなふうに言っています。
09:34	ベーター博士	ええ。ところでダン、そろそろ声が出なくなりそうです。

1回目の通話

09:37	ダン・ホルト	わかりました。
09:38	ベーター博士	あのいまいましい電話取材が1時間も続いてね。もしずっと私にかけていたのなら、話し中だったとわかるでしょう。
09:43	ダン・ホルト	一度しかかけていません。
09:44	ベーター博士	いやはや、ひどいものですよ。
09:46	ダン・ホルト	ああ、ちょっと伺いたかっただけで……あと一つだけ質問させてください。
09:50	ベーター博士	もちろん。
09:51	ダン・ホルト	ジャック・チックの雑誌『ダブル・クロス』で、彼がこう言っていて……
09:54	ベーター博士	誰ですって？
09:55	ダン・ホルト	ジャック・チックです。
09:57	ベーター博士	ジャック。ああ、はい。
09:58	ダン・ホルト	その『ダブル・クロス』で、あなたはローマ・カトリックだと書いていました。そうなんですか。
10:02	ベーター博士	ええ。
10:03	ダン・ホルト	ああ、そうですか。
10:04	ベーター博士	マロン派です。
10:05	ダン・ホルト	マロン派？　それは何ですか。
10:07	ベーター博士	レバノンのものです。レバノンにはマロン派教会があってね。カトリック教会の東方典礼に属しているんです。
10:14	ダン・ホルト	それは、いわゆる主流のローマ・カトリックに属するんですか。
10:18	ベーター博士	カトリック教会の一部ではあります。ローマ・カトリック教会の一部ではありません。
10:22	ダン・ホルト	なるほど。ローマのほうでは……
10:24	ベーター博士	そうです。私たちはカトリック教会の東方典礼なんです。
10:29	ダン・ホルト	わかりました。というのは、あの……
10:30	ベーター博士	私たちのほうがカトリック教会より古いんですよ。
10:32	ダン・ホルト	『ヨハネの黙示録』17章で、七つの丘に座って、すべての人を支配すると言われているのが、そのローマ・カトリックですよね。
10:41	ベーター博士	ええ、いや、私たちのほうがそれより古いんです。
10:43	ダン・ホルト	そうですか、ええと……
10:45	ベーター博士	私たちはマロン派なんですよ。
10:46	ダン・ホルト	わかりました。
10:47	ベーター博士	ローマ・カトリックではありません。カトリック教会とつながりがある、ということです。

1回目の通話

10:55	**ダン・ホルト**	わかりました。そこをはっきりさせたかったんです。聞きたかったことは、これでだいたい聞けたと思います。では、喉を休めてください。
11:03	**ベーター博士**	ああ、すみませんね。
11:04	**ダン・ホルト**	どうもありがとうございました、その……
11:05	**ベーター博士**	ええ、またそのうち電話してください。
11:07	**ダン・ホルト**	わかりました。
11:08	**ベーター博士**	幸運を祈ってますよ、友よ。
11:09	**ダン・ホルト**	はい、どうもありがとうございました。
11:11	**ベーター博士**	では、さようなら。

2回目の通話

11:42–19:59

11:42	ベーター博士	もしもし？
11:43	ダン・ホルト	もしもし、ベーター博士ですか？
11:44	ベーター博士	[聞き取り不明]
11:45	ダン・ホルト	またオレゴン州クレスウェルのダン・ホルト・テープ・サービスからです。ずいぶんご無沙汰してしまって。何かお変わりはないかと思いまして、お電話しました。
11:54	ベーター博士	よく聞こえないんですが。
11:55	ダン・ホルト	ダン・ホルト・テープ・サービスです。ほら、オレゴン州クレスウェルの。
11:58	ベーター博士	ああ、はい。ええ、さっきは聞こえなかったもので。
12:00	ダン・ホルト	ああ、わかりました。どうしていらっしゃるかなと思いまして。ずいぶん長いこと、ご連絡をいただいていなかったので。
12:06	ベーター博士	おや、少し前に手紙を出したと思いましたが。
12:09	ダン・ホルト	ええ。最近こちらはテープの商いもあまりないんですが、先日、電話が2本ほどかかってきました。皆さん、博士はご存命なのか、どうなさっているのか、と気にしていまして。
12:20	ベーター博士	もちろん。
12:21	ダン・ホルト	ロバート・ディーンという人がいまして、オンタリオ州トロントでトーク番組をやっています。
12:27	ベーター博士	ロバート・ディーン？
12:28	ダン・ホルト	ええ。前に博士に電話したことがあると言っていました。
12:30	ベーター博士	そうなんですか？
12:31	ダン・ホルト	ええ。以前、トーク番組に出ていただけないかとお願いしたことがあるそうです。今は何か最近の情報をお持ちか、知りたがっていまして。それに、ロサンゼルスにメイ・ブラッセルという人がいて、ほかにシャーマン・スコルニックという人もいると。以前の博士のお仕事に少し近いことをしているけれど、博士がお持ちだったほどの情報はないそうです。
12:56	ベーター博士	ええ。
12:58	ダン・ホルト	ともかく、その人は博士に連絡を取りたいというので、ご住所を伝えました。博士は[聞き取り不明]、電話番号は教えないでほしいとおっしゃっていましたから……
13:05	ベーター博士	ダン、いま話しているのは誰のことです？
13:08	ダン・ホルト	いま申し上げたロバート・ディーンです。
13:10	ベーター博士	その人はどこにいるんですか。
13:11	ダン・ホルト	オンタリオ州トロントです。
13:14	ベーター博士	少なくとも私の記憶では、その人から電話をもらったことはありませんね。

2回目の通話

13:16	ダン・ホルト	ずいぶん前のことですから。それと、『アラン・スタング・レポート』で働いているサル・プリンチョッタという人もいまして、投資について何か助言をいただけるか知りたがっています。金貨か何か、そういった商売をしているようです。
13:38	ベーター博士	ダン、その人はどこに？
13:39	ダン・ホルト	カリフォルニア州レドンドビーチです。
13:42	ベーター博士	なるほど。その人から電話が来たという話は聞いていません。つまり、[聞き取り不明]からもそんな話は出ていないんです。なにしろ、私はたいてい国外にいましたから。
13:49	ダン・ホルト	ええ、帰ってきたばかりなんですね？
13:52	ベーター博士	ええ、火曜日にはまた向こうへ行くんです。
13:54	ダン・ホルト	レバノンへですか。
13:55	ベーター博士	いや、ヨーロッパに行くんです。私は民間の病院を[聞き取り不明]。
14:02	ダン・ホルト	ああ、なるほど。
14:03	ベーター博士	それにイギリスでもですよ。
14:05	ダン・ホルト	なるほど。
14:06	ベーター博士	それから金の取引なども手がけています。
14:11	ダン・ホルト	ああ。
14:12	ベーター博士	つまりダン、今でも内部の情報は入ってくるんですよ。
14:17	ダン・ホルト	ああ、金融関係のことですか。
14:20	ベーター博士	いや、いろんなことですよ。
14:22	ダン・ホルト	えっ、そうなんですか。
14:22	ベーター博士	そうです。ただ、何か活動しているわけじゃない。ヴァージニア・メーヴスさんに、『ウィスコンシン・レポート』用の短い文章を書くだけです。
14:29	ダン・ホルト	なるほど。ほかには何も、外に出してはいないんですか。
14:33	ベーター博士	ええ、ええ。ただ、限られた顧客はいます。その方たちからは、投資やそういったことの情報を集めて提供するのに料金をいただいていますよ、ダン。
14:43	ダン・ホルト	なるほど。わかりました。
14:45	ベーター博士	ただ、その人たちのことは聞いたことがありません。でもメイ・ブラッセル、彼女はまだ仕事を続けているんですね？
14:49	ダン・ホルト	ええ、そのようです。ご存じなんですね？
14:51	ベーター博士	ええ、ずっと昔にね。
14:53	ダン・ホルト	なるほど。
14:55	ベーター博士	ところで、もう一人のその男性はどういう人なんですか。
14:58	ダン・ホルト	トーク番組をやっています。リスナーがずいぶん関心を示していると言っていました。トロントのラジオで、以前にも博士のテープを流したことがあるようです。

2回目の通話

15:09	ベーター博士	2年前に？
15:11	ダン・ホルト	いや、ごく最近もだと思います。どうしていらっしゃるのか、ご存命なのか、何があったのか、気にしている人たちがいるそうです。
15:20	ベーター博士	ダン、心臓発作を5回も起こすとね……
15:23	ダン・ホルト	ええ。
15:24	ベーター博士	体力をずいぶん持っていかれるんですよ。
15:26	ダン・ホルト	そうでしょうね。それだけ繰り返して生き延びる人は、そういませんよ。
15:29	ベーター博士	ありがたいことに、主が私を生かしておくおつもりだったんだと思います。
15:33	ダン・ホルト	何かのために、まだここにいてほしかったんでしょうね。
15:35	ベーター博士	いや、最後の発作のとき、私は一度死んだんですよ。
15:38	ダン・ホルト	本当ですか？
15:39	ベーター博士	ええ。臨床的には死んでいました。それから[聞き取り不明]分ほど、4分ほどたって、息を吹き返したんです。
15:46	ダン・ホルト	何が起きたか覚えていますか。その間の記憶は何かありますか。
15:50	ベーター博士	ええ。私の体が……いや、何だったにせよ、自分の体をすっと抜け出ていました。
15:56	ダン・ホルト	へえ。そういう体験をした人はみんな、そのときはとても穏やかだったと言いますね。
16:00	ベーター博士	ええ、そうです。とても穏やかでした。
16:04	ダン・ホルト	それはすごい体験ですね。
16:05	ベーター博士	ええ。病院へ向かう途中で死んで、車の外へすっと抜け出たんです。
16:11	ダン・ホルト	ああ、少し上のほうへ、ですか。
16:13	ベーター博士	そうです。窓をすっと通り抜けた。
16:15	ダン・ホルト	いやあ、すごい話ですね。
16:16	ベーター博士	忘れられない体験でした。
16:18	ダン・ホルト	ええ。
16:18	ベーター博士	それで、すべてがとても穏やかだったんです。
16:21	ダン・ホルト	そういう話は聞いたことがあります。ただ、実際に体験した方と話したのは初めてです。
16:26	ベーター博士	ええ。何もかも真っ暗になって、死んだんです。すると突然、すうっと浮かび始めて……
16:31	ダン・ホルト	へえ。
16:31	ベーター博士	……明るい光のほうへ向かうんです。
16:33	ダン・ホルト	それは本当にすごいですね。
16:35	ベーター博士	ええ、すごいでしょう。

2回目の通話

16:36	ダン・ホルト	ええ。
16:37	ベーター博士	ダン、私に実際に起きたことです。ところで、テープのほうはどうです？　売れたり、貸し出したりしていますか。
16:42	ダン・ホルト	こちらは最近、ちょっと振るいません。
16:45	ベーター博士	年末の休暇の時期にはいつもそうなるものですよ。
16:47	ダン・ホルト	そうかもしれませんね。
16:48	ベーター博士	広告は何か出していますか。
16:51	ダン・ホルト	いいえ。まあ、できることはやりましたよ。ラジオでちょっと流したり、ほかにもいろいろ。ただ、その局をやっている人が、私が出していた情報の一部は困ると言いましてね。自分の局では流したくないと。そのことで何か面倒に巻き込まれたのかもしれません。
17:13	ベーター博士	ええ。本当のことを言うと、いつも面倒に巻き込まれるものですよ。
17:18	ダン・ホルト	ええ、そうでしょうね。誰かがあの人に圧力をかけていたんでしょう、[聞き取り不明]。何も扱いたがらなくて。
17:24	ベーター博士	ああ、それはよかった。そういえば、夏にあなたがこちらへ来たいと言うときはいつも、私たちはケープコッドに出かけていて、留守なんですよね。
17:32	ダン・ホルト	ああ、そうですか。じゃあ……
17:33	ベーター博士	でも、こちらへ寄るときは知らせてください。
17:35	ダン・ホルト	ええ。主のお許しがあれば、できれば今もそちらへ伺いたいんですが、まだ、どうなるかわかりません。少し留守にできるだけ、こちらの用事をいつ片づけられるかにかかっています。
17:46	ベーター博士	そうですね。トロントの方が興味をお持ちなら、私に電話するようお伝えください。私はこれまで……時間もなかったし、[聞き取り不明]も。ただ今は体調がずっといいんです。またあの論争に戻るかもしれませんよ。
17:58	ダン・ホルト	そうなったら、本当にうれしいです。では、その方に博士の電話番号を伝えていいんですね？
18:03	ベーター博士	ええ。
18:03	ダン・ホルト	わかりました。もう一人の方、サル・プリンチョッタさんはどうですか。
18:09	ベーター博士	その方とも話しましょう。
18:11	ダン・ホルト	はい、わかりました。電話番号をお伝えする前に、博士のご意向を伺っておきたかったんです。
18:15	ベーター博士	まあ、私のほうもお金は入り用ですから。
18:17	ダン・ホルト	わかりました。では、そうします。
18:19	ベーター博士	ええ、もちろん。

2回目の通話

18:19	ダン・ホルト	こちらのリスナーの一人が聞いてきたんです。いつ不況が来そうだとか、何かお聞きになったり、ご存じだったりするかなと。あの……銀行がこの先しばらくは営業を続けるかどうか、ご存じですか。
18:34	ベーター博士	ええ。
18:34	ダン・ホルト	営業を続けると思われますか。
18:36	ベーター博士	そうですね、私の意見をお伝えするのは、それなりの報酬をくださる方にですよ。
18:41	ダン・ホルト	わかりました。では、そのもう一人の方に博士の番号を伝えて、本人から連絡を取ってもらいます。
18:46	ベーター博士	ええ。少しは稼げるかもしれませんね。
18:47	ダン・ホルト	わかりました。
18:48	ベーター博士	あなたにも紹介料が入りますよ。
18:50	ダン・ホルト	いや、私はそれにはあまりこだわりません。私はただ……
18:53	ベーター博士	でも、あなたにだって払わなきゃならない請求書くらいあるでしょう。
18:54	ダン・ホルト	ええ、まあ。でも普段の仕事の稼ぎで足りています。これは、何か自分にできることで、少しでも人の役に立てたらと思ってやっているんです。
19:03	ベーター博士	そうですか。私は『音声書簡』を失ったとき、自分の資金もほとんど失ったんですよ。
19:08	ダン・ホルト	ええ。そうですね、今はその方面ではあまり動きがありません。わかりました。
19:13	ベーター博士	ええ。
19:14	ダン・ホルト	わかりました。では、この方たちに博士の電話番号を伝えておきます。それから、主のお許しがあれば、いずれなんとかそちらへ伺いたいと思います。
19:22	ベーター博士	わかりました、ダン。そちらの天気はどうです？
19:25	ダン・ホルト	今日はなんとなく雨模様ですね。
19:27	ベーター博士	雪が降っていたかと思いました。
19:29	ダン・ホルト	ええ、11月の終わりには降りました。このあたりで、あんなに早く雪が降ったのは記憶にありません。
19:35	ベーター博士	わかります、わかります。
19:36	ダン・ホルト	いつもなら1月か2月ごろです。降ってもせいぜい1インチくらいで、それでおしまいです。
19:41	ベーター博士	ええ。珍しかったんですね。
19:43	ダン・ホルト	ええ。
19:44	ベーター博士	おかしなことがいろいろ起きていますね。
19:46	ダン・ホルト	ええ、本当ですね。
19:47	ベーター博士	では、ダン。
19:48	ダン・ホルト	ええ、それではこのあたりで失礼します。

2回目の通話

19:50	**ベーター博士**	ええ。電話をありがとう。
19:52	**ダン・ホルト**	はい、さようなら。
19:53	**ベーター博士**	[聞き取り不明]、もうベッドに戻ります。
19:54	**ダン・ホルト**	まだ少し早いですものね。
19:56	**ベーター博士**	ええ。
19:57	**ダン・ホルト**	では、さようなら。
19:57	**ベーター博士**	神の愛があなたとともにありますように。